

一般質問

議員の知見と活動の集約

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。

吉岡町議会では、質問・答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。



▲本会議の様子を生中継・録画でも配信



産業団地関連の道路や公園の整備は



とみおか えいいち
富岡 栄一 議員

A 造成事業と並行して行う



Q 産業団地基本計画（案）によると、関連の道路や公園の整備は町が事業主体として行うが、産業団地造成事業者へ事業要望を行ってから行うのか。

A 産業団地造成事業と並行して行う。

Q 同意書を出すと試掘調査が始まるが、稲作をしている土地で、契約までの時間がかかった場合、コメの補償はできるのか。

A 事業化と売買契約の時期、スケジュールは、今後丁寧に説明していく。

Q 関係者が契約をするにあたり、各種手続きや税金申告のサポートなど、関係者が不安を持たないように指導してほしいが。

A 各種手続きや税金申告のサポートなどは、関

係法令などを考慮して検討していく。

Q 産業団地の進捗状況は関係者や町民に周知すべきでは。

A 町のホームページで、事業概要・目的・経緯・予定に関し、進捗状況を随時更新している。

Q 令和7年4月より農地バンクが発足するが、今までとの違いは。

A 原則として農地の利用権設定は農地中間管理機構を通じた設定に一本化される。



産業団地予定地

CF 成功 新たな取り組みを



とみおか たいし
富岡 大志 議員



A より活発な事業展開を行う

Q 吉岡中吹奏楽部楽器整備でクラウドファンディング（CF）を行い、195万2000円の寄付が集まった。西関東吹奏楽コンクール・西関東アンサンブルコンテストに出場した吹奏楽部、そして部員である町の子どもたちは、町の誇りだと思う。その誇りのために、町民や町の関係人口といえる人たちが積極的に関わったことで成功した今回のプロジェクトで、吉岡町の※シビックプライドが大きく高まったのではないかと。今回の成功の要因と効果は、しっかり検証し、次の新たな取り組みにつなげてほしいが、町はどのように考えているか。

A 今回のCFを成功と評価いただき非常にうれしく思っている。何よりも吉岡中吹奏楽部関係者の皆さんの熱い思いによる広報活動や、部員の皆さんの活躍が成果を導いたと考えている。今回のプロジェクトでは広報活動の拡充を図った。寄付募集に先立って予告を実施。楽器店・音楽関係者や各種イベントへの情報展開・周知依頼により、町内外へ向けて広範囲に周知を行うことができた。また、ふるさと祭りでのチラシ配布など、部員の保護者の皆さまにもお力添えを頂いた。町職員も関係者も一体となって盛り上げていくことができた。今回のプロジェクトが、シビックプライドを高める重要な要因となるなら、今後のクラウドファンディングの在り方も検討していく必要がある。さらに、今回の議会で、「ふるさと納税型クラウドファンディング基金条例」を提案。より活発な事業展開を行い、寄付の使い道に共感した町民や、吉岡町を応援して

くださる人たちに、町への関心をより一層高めていただき、シビックプライドの高揚に寄与できればと考えている。



関係者の熱い思いと部員の活躍が成果を導いた

伝統芸能部の創設を

創部難しいが具体策検討

Q 文化協会の団体が部活動地域移行へ協力いただけたとの話を聞いた。そこで、各団体の活動内容に合わせた創部を考えてはどうか。町に3つある獅子舞保存会の活動を部活動として認めることや、伝統芸能部の創設が考えられるが。

A 土日の活動として創部することは難しいが、団体の紹介は学校に働きかけ、受け入れ団体と具体策を検討したい。



部活動地域移行の中で、文化協会各団体の活動に合わせた創部を

※シビックプライド（Civic Pride）

地域の活性化や地方創生の施策において重視されている概念です。地域社会や自治体に対して住民が抱く誇りや責任感および積極的な関与意識を指します。これが高まることで、地域社会の活力・持続可能性の向上が期待できます。

狭小道路の拡幅計画は



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員

A 現在、具体的な計画はない



Q 吉岡町の旧住宅地には、狭小道路（別名馬入れ）が多く見られるが拡幅計画は。

A 狭小道路の拡幅整備には、地元地権者の理解と協力が必要であり、長い整備期間と多額の費用がかかる。現在、具体的な計画はない。

Q 道路の陥没や亀裂補修は事故防止のため、早期発見、早期補修が望ましいが補修期間は。

A 道路の補修期間は、事故につながらないように短期間で実施。発注しての補修工事は一時的に穴埋めかコーンを置き、応急対策を行う。

Q 大松交差点の滞留から車が生活道路に進入している。注意喚起の看板設置は。

A 地域住民の安全対策として、注意喚起の看板などの設置を検討。県道の安全対策、渋滞対策

も県渋川土木事務所や渋川警察署と連携する。

Q 保育園・学童クラブの整備が進んだが、人口増加に対して受け入れ体制は大丈夫か。

A 今後も児童・生徒数を注視しながら施設整備に取り組んでいきたいと考えている。令和7年度も待機児童を出さないために、保育所の施設整備を行う。



拡幅が望まれる狭小道路

奨学金返済支援の制度化は



やまざき もりひと
山崎 守人 議員

A 検討を始めていきたい



Q 一部の有資格者にはなるが、保育士や幼稚園教諭で幼児教育に携わる人、看護師や介護士などの医療・介護に携わる人で、町内在住者に奨学金返済を支援する制度を町でも制度化できないか。

A 吉岡町に戻ってきたいと思う取り組みの1つと考える。検討を始めていきたい。

Q 今回の提案が制度化されれば、町内事業者の経営的な支援もでき、町内在住者なので税收確保という面でもメリットがあると思う。また町外の会社にも視野を向け、企業版ふるさと納税を原資として活用するのはどうか。

A 奨学金返還支援事業を検討し、実施となった場合には、企業版ふるさと納税をいただける

のであれば、ぜひ活用したいと考えている。

Q クラウドファンディング（CF）で集まったお金の用途は。

A 寄付金に町の予算を上乗せし、チューバ1本・クラリネット2本・トランペット1本・ティンパニ1台を購入予定。



CFで購入したチューバ

带状疱疹の 定期接種への助成は



いいじま まもる
飯島 衛 議員



A 広域で協議 足並みそろえて実施

Q 带状疱疹の予防接種がこの4月から65歳以上の人を対象に定期接種になるとのことだが、助成は考えているのか。

A 渋川広域市町村圏で協議しており、3市町村で足並みをそろえて実施する予定である。

Q 令和5年4月から50歳以上の人たちを対象に予防接種の助成を行っているが、引き続き行うのか。

A 自己負担の金額についても、令和6年度と同様に継続したい。

Q 全国的に見ても消防団員が減少しており、県でも172人減の1万630人で過去最少とのことだ。町でも団員の確保対策が急務と考えるが。

A 現状は、定数128人に対して74人であり、充足率は57.8%である。また、消防団員が1人も居住していない自治会もある。処遇の改善策として活動時間に応じた出勤報酬の支給を個人あてに開始している。

Q 第4分団には女性の団員が3人いるため、トイレの改修が必要と思うが。

A 令和6年度中に改修工事を終える予定である。

Q AEDケースの中に女性などに配慮した三角巾の配備をしてはどうか。

A AEDに三角巾を配備することは非常に効果的である。AEDを設置している各部署と協議して進めたい。

Q 埼玉県八潮市で下水道管の老朽化による道路の陥没事故が起きたが、町でも検査が必要と思う。現状はどうなっているのか。

A 下水道管に関しては、毎年、本管の中にテレビカメラを入れて調査を行っている。上水道管は、主に、老朽管の敷設替えを継続していきたい。

自治会が要望した側溝の改修は

令和7年度中に工事を行う予定である

Q 自治会から側溝の改修要望があり、7年たつものもある。町の令和5年の回答では検討することだが、どのように検討するのか。

A 側溝の改修は、現地の状況と施工方法を改めて検討した結果、令和7年度中に工事を行う予定である。

Q 役場窓口で軟骨伝導イヤホンを使用している自治体があるが、本町での導入には。

A 補聴器の購入費の助成を行っており、今後の検討としたい。



改修が決まった側溝



道路陥没について点検の必要性がある